

令和8年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算審査特別委員会審査
報告（審査期間：令和8年3月13日～17日（3日間））

去る3月10日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和8年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月13日から18日までの4日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

まず、3月13日に行われた現地調査について、委員並びに議長を含む14名で、令和8年度当初予算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ、担当課長及び担当職員から詳細な説明を受けました。

調査場所は、徳之島交流広場ほーらい館、阿三カシナトウ団地、建替え計画が進められている学校給食センター、新たに整備計画がなされている北部浄水場、西部ダムまでの全5か所の調査を行いましたので主な事項についてご報告と要望をいたします。

・まず、ほーらい館について、浴室からレジオネラ菌が検出されたことにより、2月24日から約2週間休館となっていましたが、清掃と消毒処理により、3月12日から無事再開され、館内は利用者で賑わいが戻り始めている状況でありました。今後も徹底した清掃、消毒処

理により来館者が安心して利用できるよう努めていただきたいと思います。

また、令和8年度には「癒ていなホール」の空調設備改修が予定されているとの説明でありましたが、プール施設の天井ボードも広範囲にわたって崩落している状況であり、その原因である防水対策も年次的に計画し、利用者の安全を最優先に取り組んでいただきたいと思います。そして、利用者からの要望もある通り、浴室入口付近への簡易トイレの設置と衛生面を考慮しスチームサウナ室内への水道蛇口設置を検討されるよう要望いたします。

・次に、阿三カシナトウ団地については、これまでに木造平屋2棟6戸の建設がなされ、令和8年度においては擁壁工事及び敷地造成工事、1棟2戸の建設が予定され、今後、年1棟のペースで建設を進めていくとの説明でありました。人口増加へ向けた取組みとして、近年多くの住宅政策が進められていますが、所得による家賃価格設定が原因で、家賃が高額となったことから転居を余儀なくされるケースも発生していると聞かれます。今後は、古い住宅の改修を行い、安価で住める住宅整備や小規模工区には家賃低廉化の住宅整備を行うなど、集落の実情を考慮した上で整備を進めるよう申し添えます。

・次に、学校給食センターについて。

給食センター建設事業については、令和8年度に建設用地購入費及び隣接する家屋の移転費用が計上されており、その後、建設設計に関するプロポーザルを実施、令和9年度より着工、令和10年度完成を目指す計画であるとの説明を受けました。また、学校給食に関しては、現代社会特有の課題である「偏った食事」「孤食」「若年層の生活習慣病の増加」などの解決に向け、食育の充実を図っています。具体的には、適正な塩分量摂取の習慣化、食材への感謝、自らで食を選択する知識の習得、食文化の継承など、「食」を通じて豊かな人生の基礎を築く取り組みも示されました。

実際の給食試食においても、健康に配慮した工夫が随所に見られ、塩分量が2グラム以下で抑えられているとはとても感じさせない、満足度の高い献立でありました。近年の課題として、給食の残食が増加傾向にあるとのことではありますが、まずは保護者に対し「食育」の重要性を理解していただき、更には家庭での食事への関心を高めていただくことが不可欠です。現在、各学校で実施されている保護者向けの試食会に加え、今後はより多くの方々が給食に触れる機会を創出するなど、地域全体で食育を支える体制づくりに努めていただくよう要望

いたします。

・次に、北部浄水場建設予定地及び西部ダムについて。

北部浄水場は、防災・安全交付金事業を活用し、令和7年度から令和11年度までの5カ年で進められています。総事業費は約5億6千万円で、馬根地区・中山地区・阿権地区の既存浄水場を北部浄水場として新たに1カ所に統合することを目的としており、現在は造成工事が進められている状況でありました。この統合・更新により、従来の「緩速ろ過方式」から「急速ろ過方式」への転換が可能となります。これにより水量の確保に加え、大雨後などに発生していた水質の濁りが解消され、安定・安心な水道水の供給が実現されるとの説明でありました。

一方で、水質に関する問題は依然として重要課題であります。特に西部地区においては、原水の大部分を地下水に依存しているため、水中の石灰分が非常に多い状況にあります。その結果、一般家庭における給湯器やシャワー、浴槽などに石灰分が付着し、日常生活に支障を来しているのが現状であります。また、原水確保の代替案として検討された西部ダムについても水質上の問題から活用は困難であるとの報告がありました。このようなことから、西部地区の水質問題は住

民生活に直結する喫緊の課題であり、早急な対策を講じるべき最優先事項として取り組まれるよう強く要望いたします。

次に3月16日から17日までの2日間、本議事堂で実施された当初予算審査特別委員会の室内審査において、委員より指摘や要望のあった主な重点事項についてご報告いたします。

まず、令和8年度一般会計予算の歳入について、

- ・歳入予算全体の14.4%が町税等を含む貴重な本町の自主財源であることから、現年度分の徴収強化と各種税滞納分については公平性の観点からも法的措置を含め十分な徴収対策に取り組まれるよう要望します。

- ・資料館や展示室等、入場料を徴収する施設運営においては、利用者視点に立ち、来客者が入りたくなるような雰囲気づくりに心がけ、利用者増加に繋がる取組みに努めること。

次に歳出について。

- ・サテライトオフィスをはじめ、各種施設の管理委託料については、毎年同額で委託するのではなく、施設利用に応じた整合性の取れる管理委託に努めること。

・地域移動支援事業については、利用者の利便性向上の観点からも、事業開始となる際には、事前に決められた停留所のみで乗降車するポイント方式ではなく、自宅前から利用できるドア トゥ ドア方式での運用を行うよう要望します。

・令和8年度より新規計上されました「高齢者ハンドル形電動車いす購入助成事業」については、高齢者の自立支援、健康増進と社会的孤立の防止、交通事故の削減と運転免許証返納の促進など多くの利点が見込まれます。周知にあたっては、高齢者を持つご親族にも伝わるよう広報誌だけでなく、町公式ホームページや SNS、集落行事や地域サロン活動の場など様々な機会を利用し広く周知に努めること。

・基幹水利施設ストックマネジメント事業について、老朽化が進む畑かん伊仙中部地区及び東部地区の関連施設を順次改修していくこととなっておりますが、伊仙中部地区においては台風や大雨等により畑の表土が流され土層が浅くなっていることから、土層改良工事も並行して実施されるよう要望します。

・施設の老朽化が著しい東犬田布集会所は、集落行事を中心にスポーツ少年団活動、町民体育祭前後の集会など年間を通し多くの機会で行われている重要な集落コミュニティーの拠点となっています。集会

所の改修・建替えは多くの集落民にとっても長年の願いであり、早期実現に向け取り組まれるよう要望します。

- ・学力向上プログラム事業におけるタブレット端末の活用については、各学校長の権限によって使用方法に差異があるとの説明でありましたが、教育委員会としても積極的なタブレット活用を推進し、宿題や自宅学習でも利用できるよう努めること。

- ・幼稚園における支援員体制の充実を図るため、現場教諭との緊密な協議調整を行い、支援を必要とする児童への配慮を徹底するとともに、必要な人員を確保し、万全な安全管理体制で事故等の未然防止に努めること。

次に、徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算について、前年度と比較し約800万円の予算縮減に努め職員の努力が見受けられるものの、施設運営にあたっては、その多くの予算が一般会計より繰入れされている状況であります。運動教室やスイミング教室の充実など、幅広い世代で利用されるような取組みを行い、会員増加に向けた取組みが求められます。すべての職員が本町の営業マンであり、ほーらい館利用推進に全力で努められるよう要望します。

最後に役場庁舎建設や学校建設など現在までに、多くの大型事業が

進められていますが、すべての町民が等しく公共の福祉を受けるためには、施政方針に示されたすべての施策実現が求められます。特に人口減少に歯止めをかけるための子育て支援や移住促進など強力に推進しつつ、今後予定される大規模事業を見据えた健全な財政運営を両立させるため、中長期的な財政計画や事業見通しに関する具体的な資料を議会へ提出し、勉強会等を開催するなど、持続可能な町政運営に向けた協議の場を設けるよう要望します。

以上が、主な事項であり指摘された事項については真摯に受け止め尽力されるよう申し添えます。

審査の結果、令和8年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算は原案可決すべきものと決定いたしました。

以上、当委員会に付託されました、「令和8年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算」についての審査結果の報告といたします。

令和8年3月19日

令和8年度当初予算審査特別委員会委員長 井上 和代